

ごあいさつ

近年、世界中でその役割がますます重要視されてきているNGOについては、その活動能力や専門性の向上といったキャパシティービルディングが一段と求められています。

外務省では、NGOの活動環境を整備するための事業の一つとして、「NGO研究会」を主催しています。平成13年度に立ち上げたこの事業では、過去に分野別研究会として「保健・医療」、「教育」、「農業・農村開発」、国別研究会として「スリランカ」をテーマに研究会を行ってきました。分野別研究会は3年に渡り同テーマで行われ、一定の成果がみられたことから、平成17年度においてはテーマを変え、「人間の安全保障」という共通するテーマのもと、「災害復興」、「障害分野」、「保健分野支援における分野横断的取組」の3つの新たな分野で研究会を行いました。

本報告書は、「NGO研究会（障害分野）」の1年の成果をまとめたものです。同研究会では、国内でのワークショップ、講義、そしてタイでの現地調査等を経て、研究会メンバー間での障害分野におけるさらなる専門知識の獲得、そして関係者間でのネットワーク構築へと、成果を上げてきました。この報告書は、既に国際協力の場で障害分野において顕著な業績を納められている研究会メンバーの方々自身により執筆されたものです。各章ごとに様々な角度からのきめ細かなアプローチ、分析がなされており、メンバーの方々の経験、専門知識を下に、非常に有意義かつ高度な内容となっています。

今年度、特に障害分野という 이슈を取り上げ、我が国ODA関係者間での同分野への注意を改めて喚起できたこと、また、障害分野でのネットワーク形成に寄与できたこと、を嬉しく思っております。今回の研究会活動及びこの報告書が、日本のNGOの障害分野でのキャパシティービルディングにつながり、さらに、NGOのみならず同分野に

関心をもたれるすべての人のお役に立つこととなれば幸いです。

2006年3月
外務省経済協力局
民間援助支援室長
城守 茂美